



2024年3月期 第1四半期決算説明資料

2023年 8月1日

喜びを創り喜びを提供する



<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次

- 2024年3月期 第1四半期決算概要 P 1～19
- 2024年3月期 通期業績予想 P 20～24
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 25～43
- ESG関連情報 P 44～46
- 株式の状況・株主還元 P 47～51
- 参考情報 P 52～61
- 熱狂的ファンづくりの取り組み事例 P 62～67



2024年3月期 第1四半期決算概要

業績ハイライト(2024年3月期 第1四半期)

2024年3月期 第1四半期(4-6)業績

売上高 前年同期比 **145.6%** / 経常利益 同 **236.8%**

経常利益率は、**22.3%**(前年同期比 +8.6ポイント改善)

●行動制限の解除に伴う人流回復を追い風に、売上高は13,853百万円(前年同期比145.6%)、営業利益は3,059百万円(同 265.9%)、経常利益は3,084百万円(同 236.8%)、四半期純利益は2,069百万円(同 246.6%)の増収・増益となり、いずれも第1四半期としての過去最高を更新。

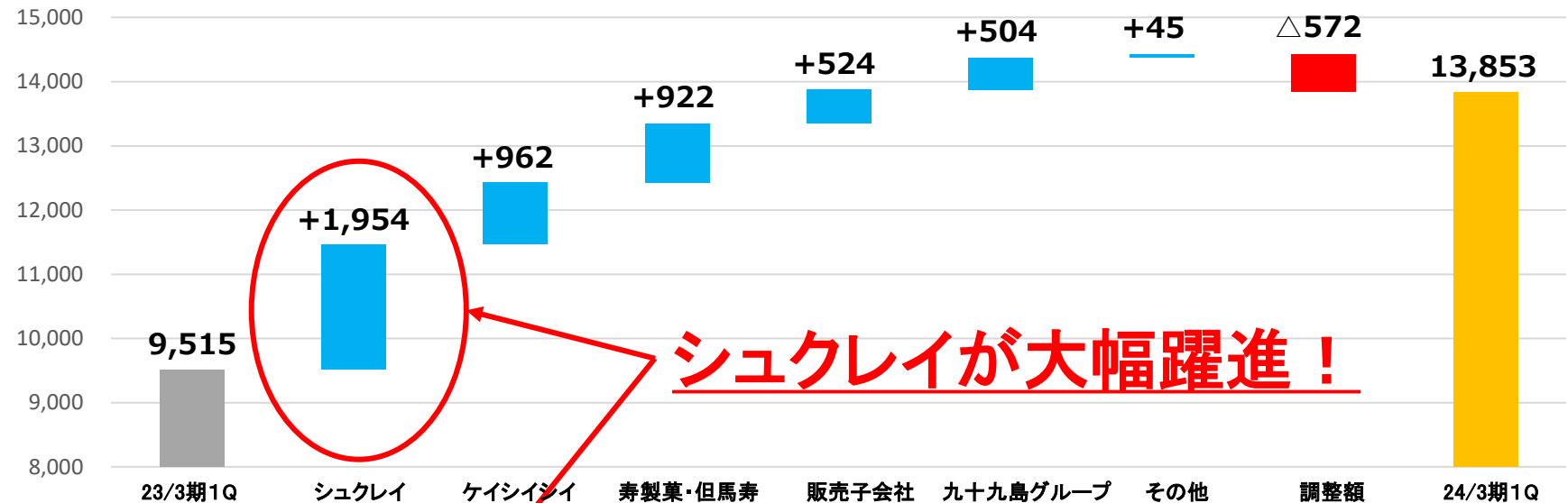
●シュクレイの売上高は、5,772百万円(前年同期比151.2%)、営業利益は1,204百万円(同 207.7%)となり、グループ成長を牽引。

●インバウンド売上高(国際線ターミナル売店卸売上高)は、1,520百万円(20/3期比101.2%)となり、概ね新型コロナ発生前水準まで回復。

売上高／営業利益増減分析(前年同期比)

(売上高)

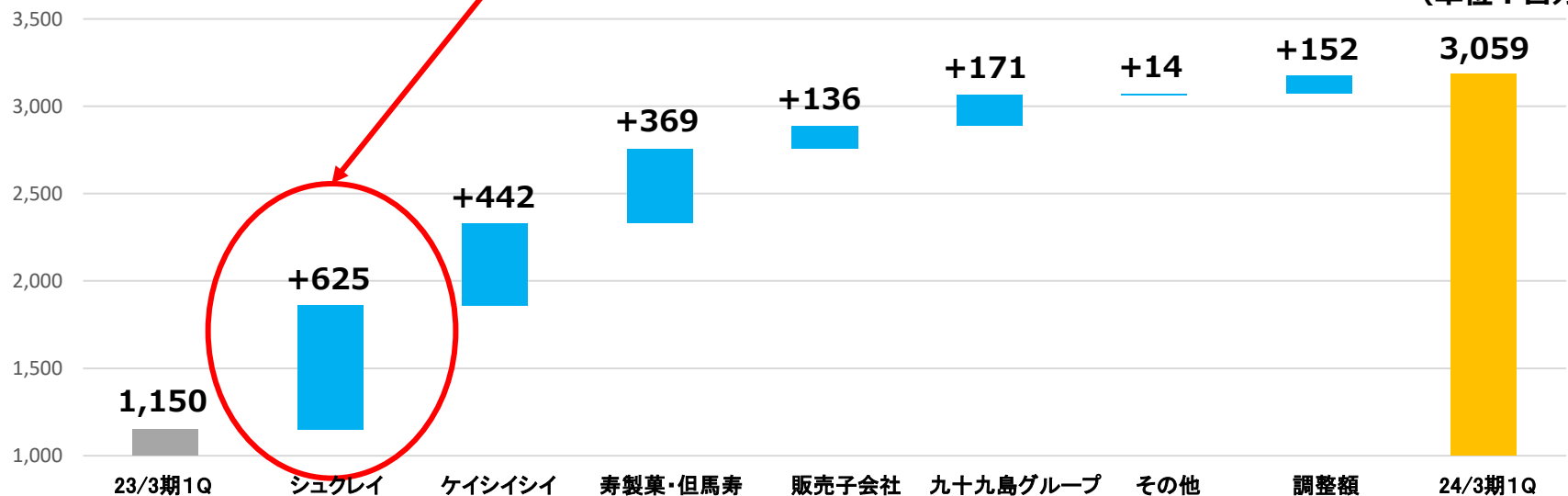
(単位：百万円)



シュクレイが大幅躍進！

(営業利益)

(単位：百万円)



トピックス①シュクレイ 東京駅エリア新規出店

シュクレイによる新ブランド「THE DROS(ザ・ドロス)グランスタ東京店」がオープン
東京駅の中でも超一等地でプレミアムブランド化を推進



2023年6月26日「THE DROS(ザ・ドロス)グランスタ東京店」OPEN



ベイクドケーキ(クリームチーズ&アーモンド)

トピックス①シュクレイ 東京駅エリア新規出店

シュクレイによる新ブランド「Mr.Maple(ミスターメープル)グランスタ東京店」がオープン
移転リニューアルした「ザ・メープルマニア」の後継テナントとして展開



2023年6月15日「Mr.Maple(ミスターメープル)グランスタ東京店」OPEN

トピックス②シュクレイ 東京駅エリア内でのリロケーション

「ザ・メープルマニア」がグランスタ東京内でより好立地への移転リニューアル



2023年6月19日「ザ・メープルマニア グランスタ東京店」移転リニューアルオープン

トピックス③シュクレイ 百貨店エリア新規出店

「ザ・メープルマニア」が京王百貨店新宿本店の一等地へ出店



2023年5月25日「ザ・メープルマニア 京王百貨店新宿店」OPEN

トピックス④東京駅お土産ランキンググループ上位独占

グランスタ東京、エキュート東京によるお土産ランキング「東京駅限定 定番手土産スイーツ売上ランキング TOP10」と、2023年6月15日にリニューアルオープンした「グランスタ東京 丸の内坂エリア」の「最速！新商品売上ランキングTOP3」が発表！

「東京駅限定 定番手土産スイーツ売上ランキング TOP10」



1位 サンドクッキー ヘーゼルナッツと木莓
COCORIS



4位 チーズケーキサンド
Now on Cheese ♪



5位 フレンチトーストフィナンシェトリプル
TOKYO STATION LIMITED/ Ivorish



8位 駅舎限定PKG クッキー詰め合わせ
東京ミルクチーズ工場

グランスタ東京 丸の内坂エリア 「最速！新商品売上ランキングTOP3」



1位 メープルラムケーキ
ミスターメープルbyザ・メープルマニア



3位 フレンチトーストプディング
TOKYO STATION LIMITED/ Ivorish

ご参考(インバウンド売上)

昨年10月からの入国制限緩和により、主要国際線ターミナルの売店が段階的に再開。
2024年3月期第1四半期のインバウンド売上は、概ね新型コロナ発生前水準まで回復。

【インバウンド売上高(国際線ターミナル売店卸売上高)】 (注)2024年3月期 通期は予想

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2024年3月期	1,520				5,000
2023年3月期	86	167	640	1,085	1,978
2020年3月期	1,502	1,381	1,645	846	5,375



成田空港Fa-So-La TAX FREE AKIHABARA内に展開中の「小樽洋菓子舗LeTAO」「ザ・メープルマニア」

ご参考(海外売上)

海外売上333百万円 前年同期比0.6%増収
海外売上もコロナ収束により徐々に回復傾向に。



【海外売上高】

(百万円、%)	23年3月期 (1Q)	24年3月期 (1Q)	増減額	増減率
台湾(注)	88	120	32	37.0
韓国	47	25	△ 22	△ 47.7
シンガポール	90	54	△ 36	△ 39.5
中国	70	61	△ 9	△ 13.1
オーストラリア	16	38	22	131.3
その他	20	35	15	75.0
合計	331	333	2	0.6

(注)台湾は連結子会社。他の地域はFC展開。

台湾は現地売上、FCは国内出荷売上+ロイヤルティ

東京ミルクチーズ工場 フィリピン MITSUKOSHI BCG店(2023年7月21日 グランドオープン)

2024年3月期 第1四半期業績(対前年同期)

対前年同期比 売上高45.6%増、経常利益136.8%増

(百万円、%)	23年3月期(1Q)		24年3月期(1Q)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	9,515	—	13,853	—	4,338	45.6
売上総利益	5,532	58.1	8,436	60.9	2,903	52.5
販売管理費	4,382	46.1	5,377	38.8	995	22.7
営業利益	1,150	12.1	3,059	22.1	1,908	165.9
経常利益	1,302	13.7	3,084	22.3	1,781	136.8
四半期純利益(注)	839	8.8	2,069	14.9	1,230	146.6
EPS(円)	26.96		66.49		39.53	

(注)四半期純利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益

売上高(販売チャネル別)

人流回復を追い風に、国内卸売及び小売が大幅増収

(百万円、%)	23年3月期(1Q)		24年3月期(1Q)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	9,515	—	13,853	—	4,338	45.6
国内卸売	3,242	34.1	5,911	42.7	2,669	82.3
国内小売	4,694	49.3	6,523	47.1	1,829	39.0
通信販売	1,247	13.1	1,085	7.8	△ 162	△ 13.0
その他	1	0.0	1	0.0	0	9.0
国内計	9,184	96.5	13,520	97.6	4,336	47.2
海外卸売	244	2.6	213	1.5	△ 31	△ 12.5
海外小売	88	0.9	120	0.9	32	37.0
海外計	331	3.5	333	2.4	2	0.6

(注)国内卸売は、主に小売店向け卸(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど/国内小売は、主に直営店舗、催事など
海外卸売は、海外FCに対する国内出荷売上+ロイヤルティ/海外小売は、台湾子会社の売上/その他は損害保険代理業

セグメント別の業績(対前年同期)

シュクレイを筆頭に、各セグメント軒並み増収増益

(百万円、%)	売上高				営業利益(△損失)		
	23/3期(1Q)	24/3期(1Q)	増減額	増減率	23/3期(1Q)	24/3期(1Q)	増減額
シュクレイ	3,819	5,772	1,954	51.2	580	1,204	625
ケイセイセイ	2,638	3,600	962	36.4	88	530	442
寿製菓・但馬寿	2,080	3,002	922	44.3	294	663	369
販売子会社	1,115	1,639	524	47.0	64	200	136
九十九島グループ	881	1,386	504	57.2	△ 15	156	171
その他(注)	101	147	45	44.4	△ 9	5	14
セグメント計	10,634	15,544	4,910	46.2	1,001	2,757	1,756
調整額	△ 1,119	△ 1,691	△ 572	51.1	149	301	152
合計	9,515	13,853	4,338	45.6	1,150	3,059	1,908

(注)「その他」には、損害保険代理事業、健康食品事業、海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

セグメント別業績の補足説明

<p>シュクレイ</p>	<p>シュクレイは、更なるブランド価値の向上に拘り、「東京ミルクチーズ工場」において季節限定商品「バニラ&マスカルポーネクッキー」を発売するなど、各売場において季節限定商品の発売や試食販売などによる販売力の強化などに注力いたしました。また、主要国際線ターミナルを中心にインバウンド対策を強化するとともに、催事出店にも積極的に取り組みました。新規出店では、5月に「ザ・メープルマニア」京王新宿店を、6月にはJR東京駅「グランスタ東京」に新ブランド「ザ・ドロス」を出店するなど、計3店の出店を行いました。</p>
<p>ケイシイシイ</p>	<p>25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」の更なるブランド価値の向上を図るため、「ルタオ本店」及び「ルタオパトス」の売場改装を行い、商品面では、「ドゥーブルフロマージュ」、「小樽色内通りフロマージュ」などの主力商品を軸に、「まああるガトーノワール」や25周年記念菓「フロマネージュ」などの新商品を加えて、各販売チャネルでの販売強化に注力いたしました。また、インバウンド対策では、主要国際線ターミナルを中心に、販売体制を早期に整え、販売力の向上に努めました。道外店舗では、「Now on Cheese♪（ノウオンチーズ）」などの首都圏ブランドの育成に注力いたしました。</p>
<p>寿製菓・但馬寿</p>	<p>国内旅行需要の回復に備え、代理店及びグループ会社との連携強化を図り、売場改善提案などによる主力商品対策や新商品開発に注力いたしました。また、山陰地区では、12年に一度の「うさぎ年」に発売55周年を迎えた山陰銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や築城30周年を迎えた「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。</p>
<p>販売子会社</p>	<p>交通拠点チャネルを重点に、土産需要の回復を見据え、主力商品及び新商品による売場面積の拡大に注力いたしました。エリア別では、関西地区は、主力商品「フレンチトーストラングドシャ」のリニューアルによる販売強化、福岡地区では「博多まっかな苺」ブランド展開の推進などに取り組みました。</p>
<p>九十九島グループ</p>	<p>製造小売型経営への変革を図るため、グループのシナジーを最大限活用し、製品の改廃、組織改革、製造ラインの見直しなどの経営改革を推進いたしました。10周年を迎えたフレンチトースト専門店「アイボリッシュ」では、グランスタ東京のリニューアルオープンに「フレンチトーストプディング」などの東京駅限定商品を発売するなど、更なるブランド認知度の向上に取り組みました。</p>

売上原価・売上総利益

材料費の上昇傾向の中、生産稼働率の回復及び生産効率の改善などにより売上総利益率は前年同期比2.8ポイント増加

(百万円、%)	23年3月期(1Q)		24年3月期(1Q)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	9,515	—	13,853	—	4,338	45.6
材料費	2,187	23.0	3,631	26.2	1,444	66.0
労務費	1,038	10.9	1,212	8.8	174	16.8
製造経費	511	5.4	679	4.9	169	33.1
製造原価計	3,736	39.3	5,522	39.9	1,787	47.8
その他	247	2.6	△ 105	△ 0.8	△ 352	—
売上原価合計	3,983	41.9	5,418	39.1	1,435	36.0
売上総利益	5,532	58.1	8,436	60.9	2,903	52.5

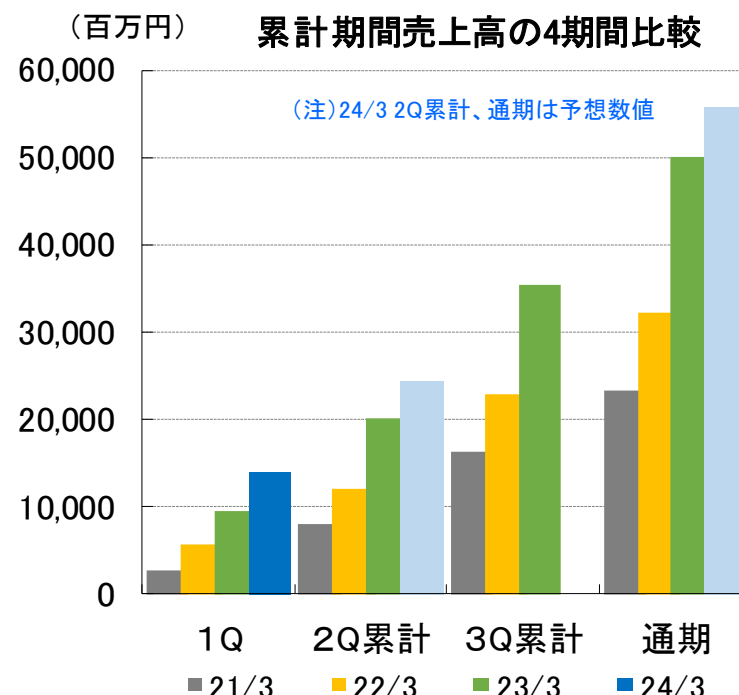
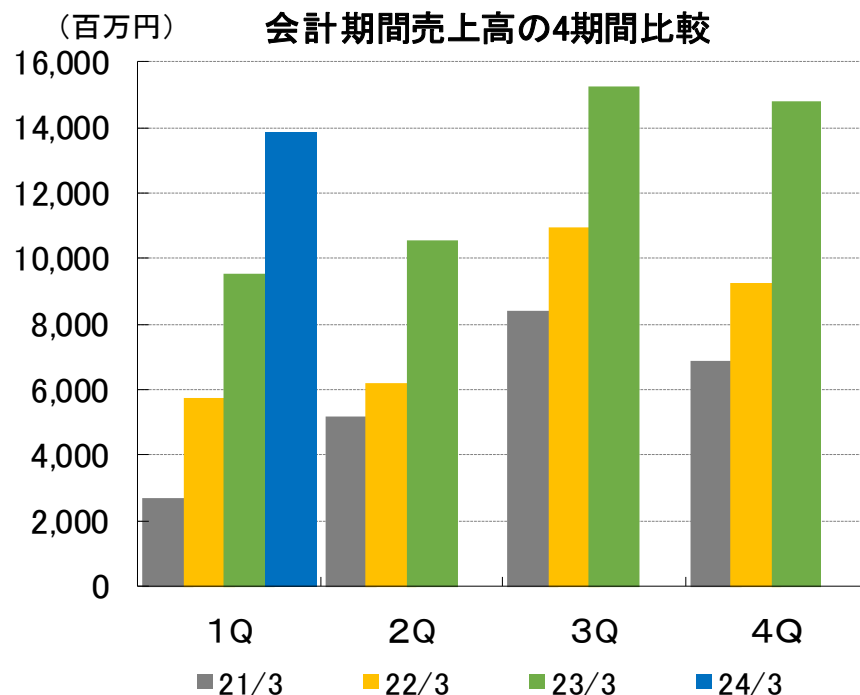
販売管理費・営業利益

売上の成長及び販売効率の改善などにより、販売管理費率は前年同期比7.3ポイント減少

(百万円、%)	23年3月期(1Q)		24年3月期(1Q)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上総利益	5,532	58.1	8,436	60.9	2,903	52.5
人件費	1,740	18.3	2,058	14.9	318	18.3
販売促進費	605	6.4	766	5.5	161	26.5
運賃	308	3.2	458	3.3	150	48.6
広告宣伝費	104	1.1	95	0.7	△ 9	△ 8.5
地代家賃	294	3.1	329	2.4	36	12.1
減価償却費	96	1.0	97	0.7	2	1.7
旅費交通費	76	0.8	97	0.7	21	27.9
支払手数料	801	8.4	1,061	7.7	260	32.4
その他	358	3.8	414	3.0	56	15.8
販売管理費	4,382	46.1	5,377	38.8	995	22.7
営業利益	1,150	12.1	3,059	22.1	1,908	165.9

四半期業績の推移(売上高)

2Q累計予想に対する進捗率は、57.0%

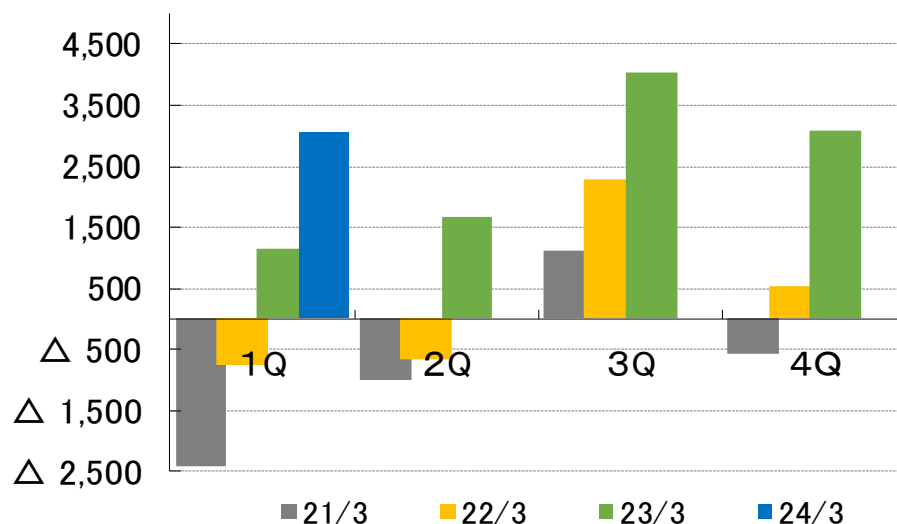


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	2,716	5,189	8,402	6,898	2,716	7,905	16,306	23,205
22/3	5,758	6,200	10,963	9,270	5,758	11,959	22,921	32,192
23/3	9,515	10,585	15,270	14,785	9,515	20,100	35,370	50,155
24/3	13,853	-	-	-	13,853	24,300	-	55,870
対前年	145.6%	-	-	-	145.6%	-	-	-

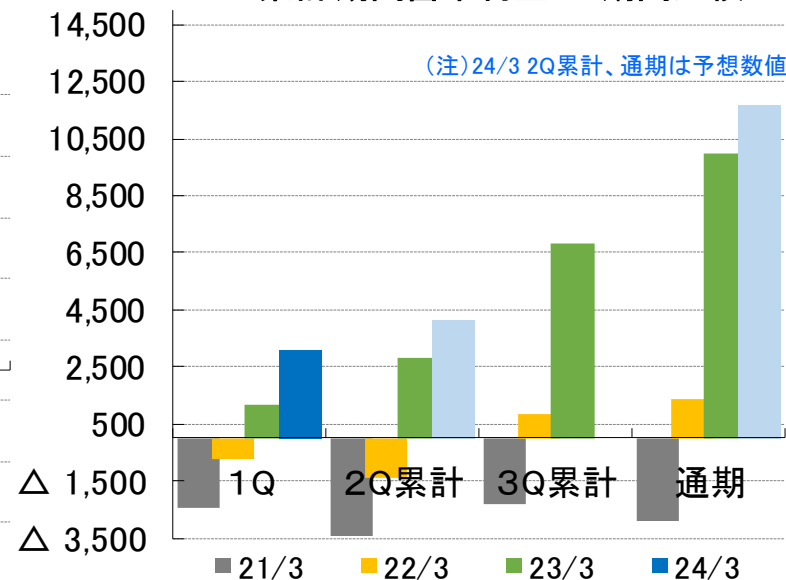
四半期業績の推移(営業利益)

2Q累計予想に対する進捗率は、74.6%

(百万円) 会計期間営業利益の4期間比較



(百万円) 累計期間営業利益の4期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	△ 2,409	△ 1,012	1,114	△ 583	△ 2,409	△ 3,421	△ 2,307	△ 2,890
22/3	△ 759	△ 659	2,279	542	△ 759	△ 1,418	860	1,403
23/3	1,150	1,680	4,026	3,095	1,150	2,830	6,856	9,952
24/3	3,059				3,059	4,100		11,670
対前年	265.9%				265.9%			

貸借対照表

流動資産の減少は、主に季節変動による売上債権及び現預金の減少によるもの

(百万円、%)	22年3月期		23年3月期		24年3月期(1Q)		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	15,804	57.5	25,741	69.7	24,278	68.2	△ 1,463	△ 5.7
固定資産	11,666	42.5	11,212	30.3	11,324	31.8	111	1.0
資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	35,601	100.0	△ 1,352	△ 3.7
流動負債	4,620	16.8	8,095	21.9	6,811	19.1	△ 1,285	△ 15.9
固定負債	2,493	9.1	2,340	6.3	2,367	6.6	27	1.1
負債合計	7,114	25.9	10,436	28.2	9,178	25.8	△ 1,258	△ 12.1
純資産	20,357	74.1	26,518	71.8	26,423	74.2	△ 94	△ 0.4
負債純資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	35,601	100.0	△ 1,352	△ 3.7
BPS(円)	654.15		852.13		849.11		△ 3.02	△ 0.4
現金及び預金	9,913		17,162		16,047		△ 1,115	△ 6.5
有利子負債	726		440		397		△ 43	△ 9.7



2024年3月期 通期業績予想

(業績予想は、2023年5月15日付で公表した予想から変更はありません。)

2024年3月期 通期業績予想の補足説明

● 予想スタンス

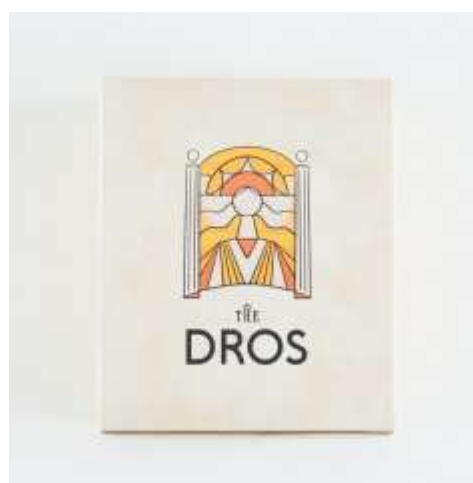
当第1四半期の業績は、業績予想に対して堅調に進捗しているものの、事業環境は、依然として先行き不透明な状況であるため、第2四半期累計及び通期の業績予想は、期初予想を据え置く。

● 設備投資・減価償却

製造ラインの新設及び拡充等に伴い、設備投資計画を期初計画12億円から20億円に変更。減価償却費実施額は12億円から12.5億円に変更。

● 株式分割の実施

本年8月1日開催の取締役会において、本年10月1日を効力発生日として、普通株式1株に対して5株の割合で株式分割を行うことを決議（本資料48ページ「株式分割について」参照）。これに伴い、2024年3月期予想EPS及び1株当りの配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載。



2024年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高前期比11.4%増、営業利益同17.3%増

(百万円、%)	23年3月期		24年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	50,155	-	55,870	-	5,715	11.4
売上総利益	30,107	60.0	33,970	60.8	3,863	12.8
販売管理費	20,155	40.2	22,300	39.9	2,145	10.6
営業利益	9,952	19.8	11,670	20.9	1,718	17.3
経常利益	10,296	20.5	11,720	21.0	1,424	13.8
当期純利益	7,018	14.0	7,850	14.1	832	11.9
EPS(円)	225.52		50.45	(注)	-	-
1株当たり配当金(円)	70.00		14.00	(注)	-	-
設備投資	573		2,000		1,427	249.1
減価償却費	1,137		1,250		113	9.9

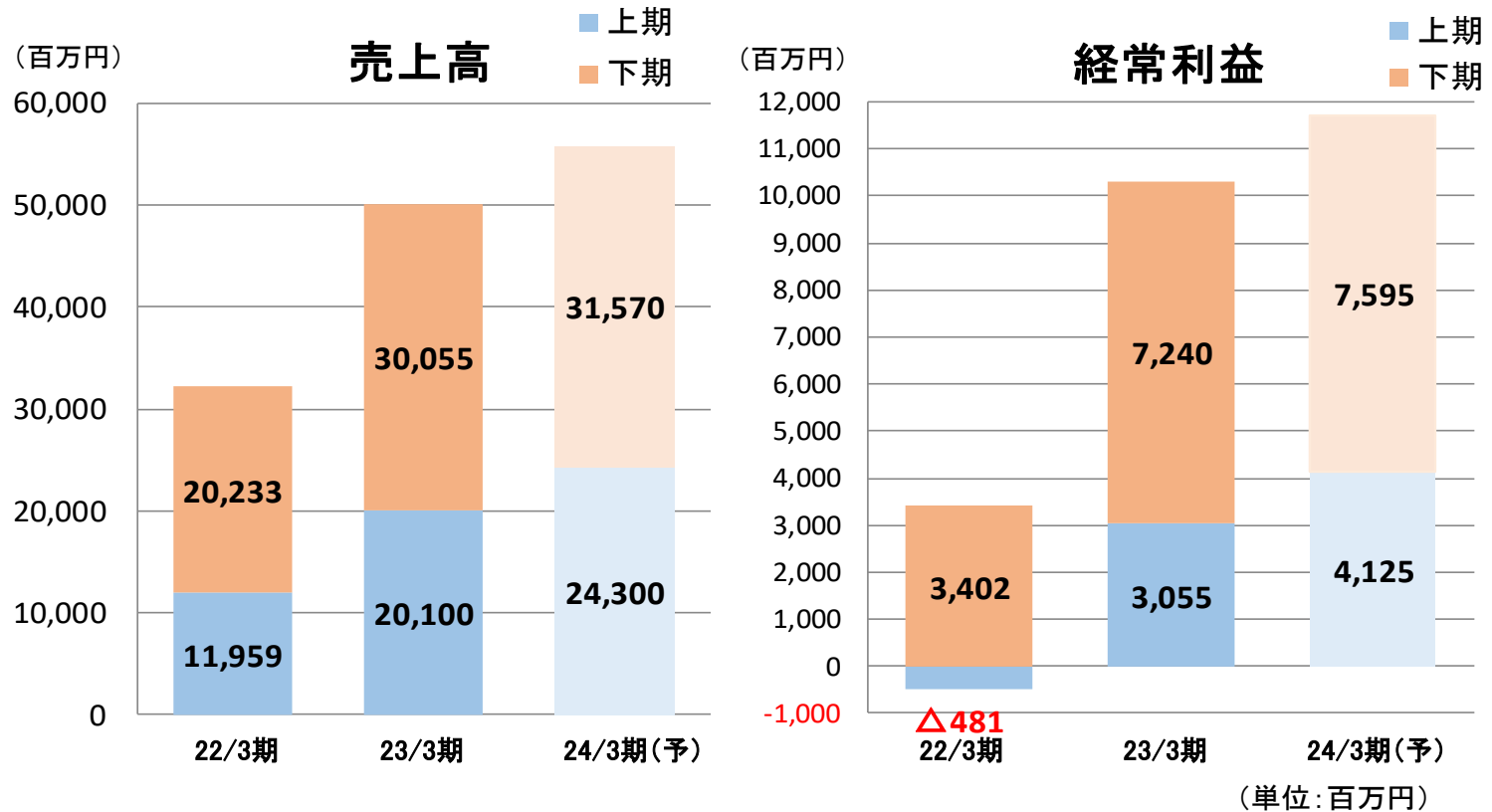
(注) 48ページ「株式分割について」参照。株式分割前換算のEPSは、252.26円、1株当たり配当金は、70円。

2024年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイを筆頭に、全セグメント増収・増益を目指す!

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	23/3期	24/3期予	増減額	増減率	23/3期	24/3期予	増減額
シュクレイ	20,699	24,380	3,681	17.8	4,144	4,950	806
ケイシイシイ	14,114	15,550	1,436	10.2	2,113	2,500	387
寿製菓・但馬寿	10,042	10,830	788	7.8	1,694	1,832	138
販売子会社	5,354	5,800	446	8.3	472	560	88
九十九島グループ	4,628	4,950	322	7.0	366	370	4
その他	734	720	△ 14	△ 1.9	97	103	6
セグメント計	55,570	62,230	6,660	12.0	8,887	10,315	1,428
調整額	△ 5,415	△ 6,360	△ 945	17.5	1,065	1,355	290
合計	50,155	55,870	5,715	11.4	9,952	11,670	1,718

2024年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)



	売上高						経常利益					
	22/3期	構成比	23/3期	構成比	24/3期(予)	構成比	22/3期	構成比	23/3期	構成比	24/3期(予)	構成比
上期	11,959	37.1%	20,100	40.1%	24,300	43.5%	△ 481	-	3,055	29.7%	4,125	35.2%
下期	20,233	62.9%	30,055	59.9%	31,570	56.5%	3,402	-	7,240	70.3%	7,595	64.8%
通期	32,192	100.0%	50,155	100.0%	55,870	100.0%	2,921	-	10,296	100.0%	11,720	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

当社グループの経営理念は、創業者であります故河越庄市をはじめ、諸先輩方が幾多の試練を乗り越えてこられた中、生まれました。利潤の追求のみが企業の目的ではなく、会社が未来永劫発展し続けるためには、常に「人様に喜んでいただく」ことを最優先に考え、お客様に喜んでいただける商品を創り、お客様に喜ばれるサービスを提供し続け、地域社会への貢献、共存・共栄こそが、会社の存在意義であり、当社グループに与えられた使命であります。

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

当社グループの全従業員は、経営理念の具現化に向け、ひとつのお菓子、ひとりのお客様への接客で、一生お付き合いができる熱狂的なファンを今日一人創ることに徹する「熱狂的ファン創り」を基本ポリシーとしております。

経営理念をベースとした「**全員参画経営**」の実践

当社グループは、経営理念を拠り所に、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画経営**」の実践により、活力ある魅力あふれる企業集団を創り、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

《経営理念手帳「こづち」について》

当社グループは、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、全従業員の経営理念浸透と企業倫理の徹底に努めております。経営理念手帳「こづち」は、各職場単位で行う朝礼や研修、勉強会などで活用し、また、経営理念の実践の成果を全従業員が共有し、さらなる大きな成果を生み出していくことを目的に「こづち発表全国大会」を年1回開催しております。



2023年1月「こづち発表全国大会」を開催

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「地域性(Local)」と「専門店性(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアムギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2023年経営スローガン

超絶ド成長元年！

消費活動が正常化に向かっていく中、当社グループは、超絶な成長軌道に乗せるべく、グループの総力を結集し、美味しさをより一層追求したプレミアムギフトスイーツに特化し、超絶なスピードとパワーで事業施策を遂行する。

重点施策

1.ド成長重点対策の推進

ド成長重点対策

- ①ド成長の商品力、販売力、売場力の超絶シンカ
- ②ド成長の人財採用と共育
- ③ド成長のブランド開発と売場獲得
- ④ド成長のインバウンド復活準備と海外成功モデルの構築
- ⑤ド成長の生産体制、ロジスティックの超絶シンカ

2.「全員参画による超現場主義」経営の推進

経営理念の徹底実践をベースとした「全員参画による超現場主義」経営を推進し、人財力及び組織力の向上を図る。

今後の経営方針

中長期の目標

長期目標

売上高経常利益率 30%

「全員参画による超現場主義」経営を推進し、プレミアムギフトスイーツの更なる「高い価値の創造」に注力していく

中期目標

① シュクレイ売上高 350億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(予想)	26年3月期(目標)
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	24,380	35,000

② インバウンド売上高 100億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(予想)	26年3月期(目標)
売上高	5,375	98	125	1,978	5,000	10,000

※インバウンド売上高は、国際線ターミナル売店卸売上高となります。

セグメント別概況

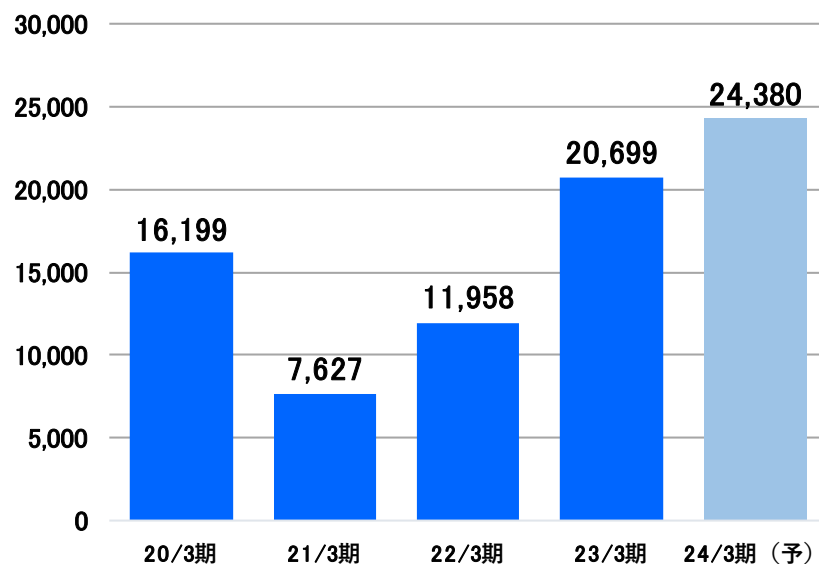


- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- くじゅうくしま 九十九島グループ
- その他

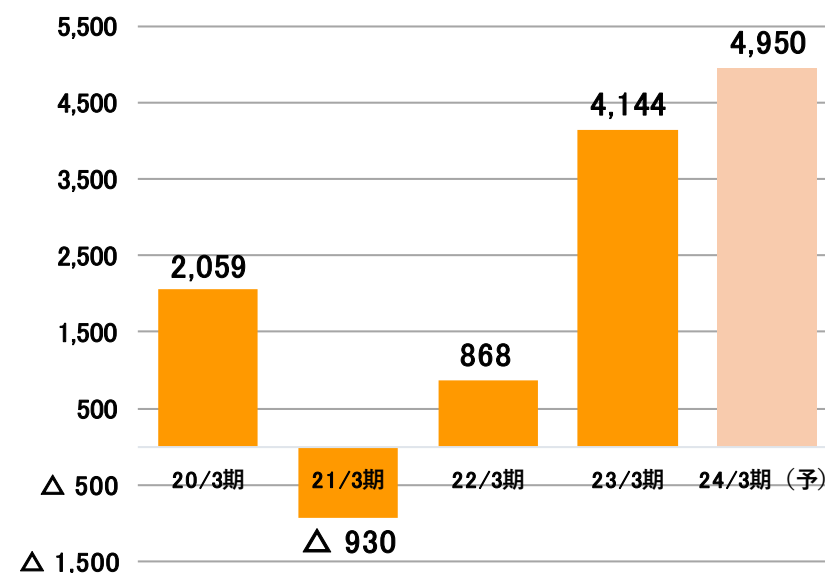
《シュクレイ》

24/3期予想:売上高 **24,380**百万円(前期比**+17.8%**)営業利益 **4,950**百万円(同**+19.4%**)

売上高



営業利益



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	8,741	73.1	24,380	3,681	17.8
売上総利益	9,893	4,198	7,271	13,160	5,890	81.0	15,500	2,340	17.8
粗利率	61.1	55.0	60.8	63.6	2.8	4.6	63.6	-	-
販売管理費	7,834	5,128	6,402	9,016	2,614	40.8	10,550	1,534	17.0
営業利益	2,059	Δ 930	868	4,144	3,276	377.2	4,950	806	19.4

《シュクレイ》



現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、2026年3月期売上高350億円突破に向け、成長を加速させる



クッキー(ゴルゴンゾーラ&アーモンド)

THE DROS(ザ・ドロス)グランスタ東京店
2023年6月26日オープン

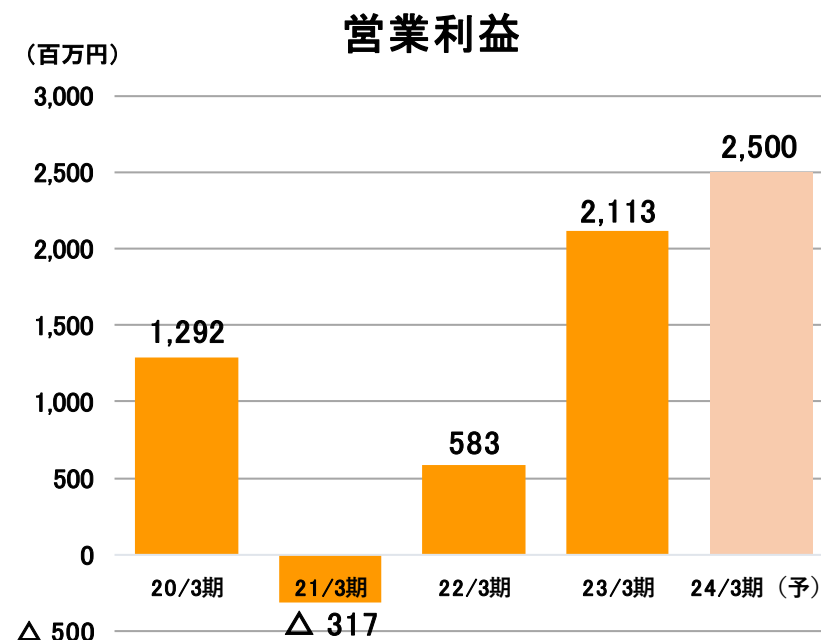
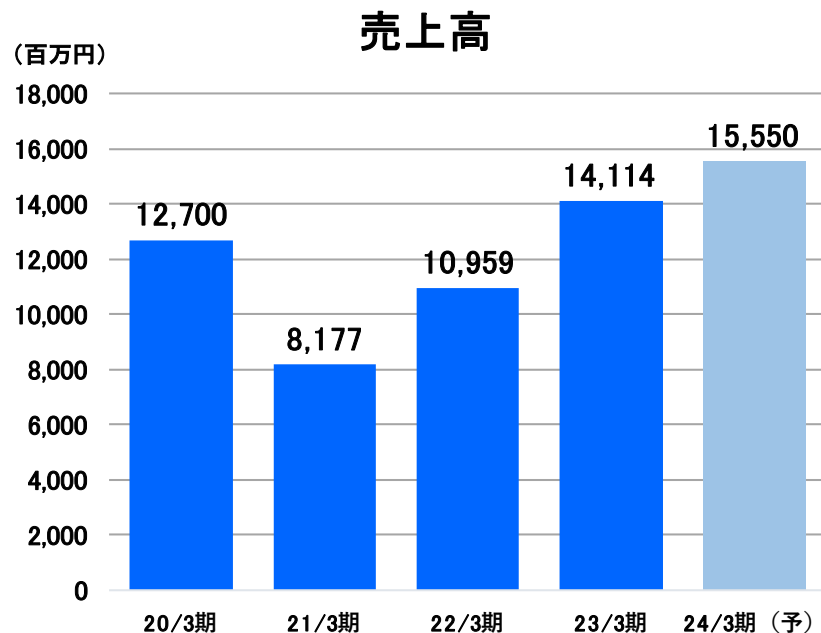


バニラ&マスカルポーネクッキー

東京ミルクチーズ工場 季節限定商品

《ケイシイシイ》

24/3期予想:売上高 **15,550**百万円(前期比**+10.2%**)営業利益 **2,500**百万円(同**+18.3%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	12,700	8,177	10,959	14,114	3,155	28.8	15,550	1,436	10.2
売上総利益	7,758	4,806	5,908	8,149	2,241	37.9	9,000	851	10.4
粗利率	61.1	58.8	53.9	57.7	3.8	7.1	57.9	-	-
販売管理費	6,466	5,123	5,325	6,036	710	13.3	6,500	464	7.7
営業利益	1,292	Δ 317	583	2,113	1,531	262.7	2,500	387	18.3



《ケイシイシイ》

25周年を迎えた小樽洋菓子舗LeTAOの更なるブランド価値の向上及び「PISTA&TOKYO」、「Now on Cheese♪」、「岡田謹製あんバター屋」などの首都圏ブランドの育成に注力



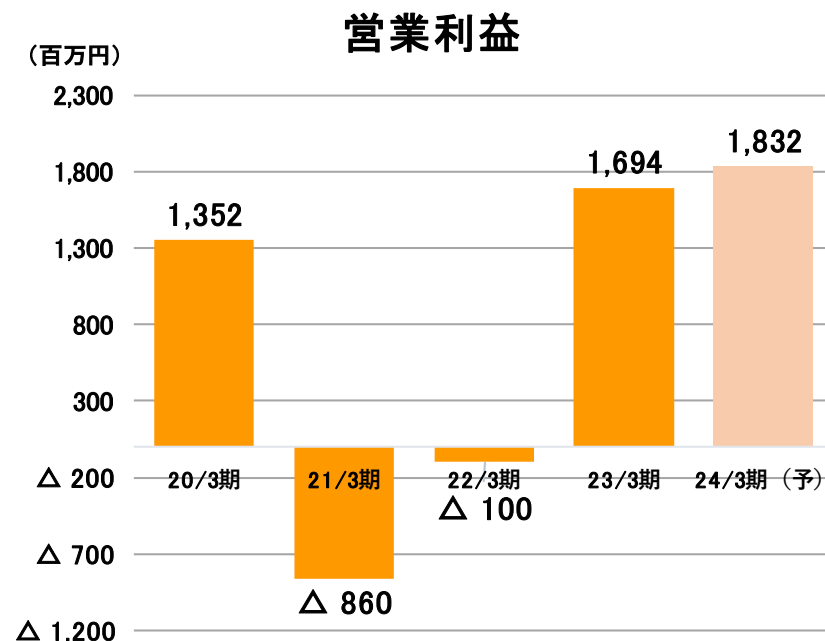
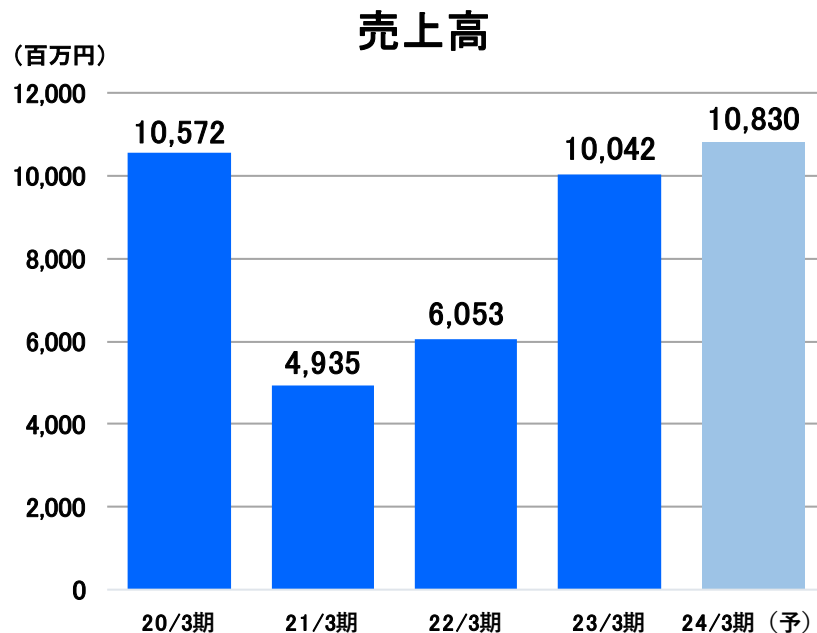
2023年6月26日発売
小樽洋菓子舗ルタオ25周年記念菓「フロマネージュ」



主力商品ドゥーブルフロマージュ

《寿製菓・但馬寿》

24/3期予想:売上高 **10,830**百万円(前期比**+7.8%**)営業利益 **1,832**百万円(前期比**+8.1%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,572	4,935	6,053	10,042	3,989	65.9	10,830	788	7.8
売上総利益	4,199	969	1,774	3,953	2,179	122.8	4,264	311	7.9
粗利率	39.7	19.6	29.3	39.4	10.1	34.3	39.4	-	-
販売管理費	2,847	1,829	1,874	2,258	384	20.5	2,432	174	7.7
営業利益	1,352	Δ 860	Δ 100	1,694	1,795	-	1,832	138	8.1

《寿製菓・但馬寿》



主力商品の育成及び新商品開発の推進、土産需要の復活に備え代理店との連携強化を図る



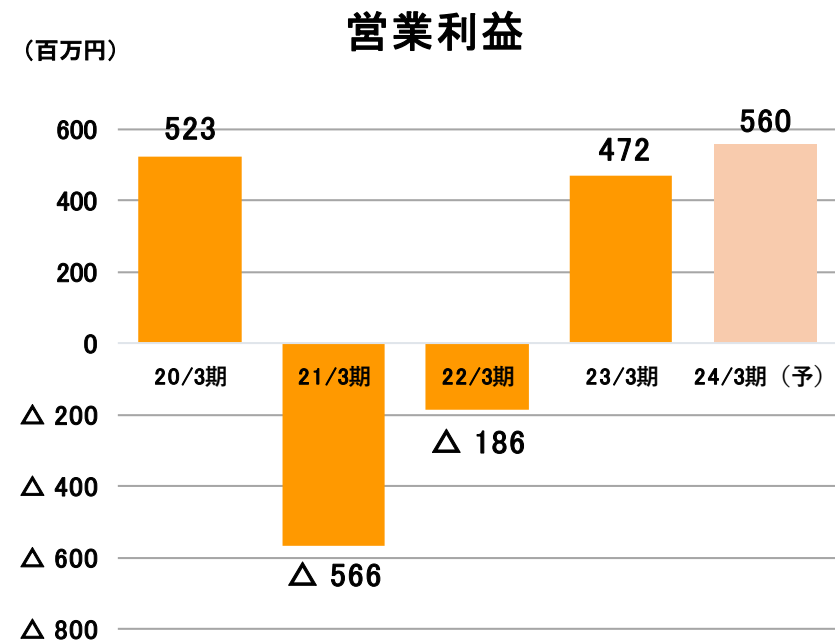
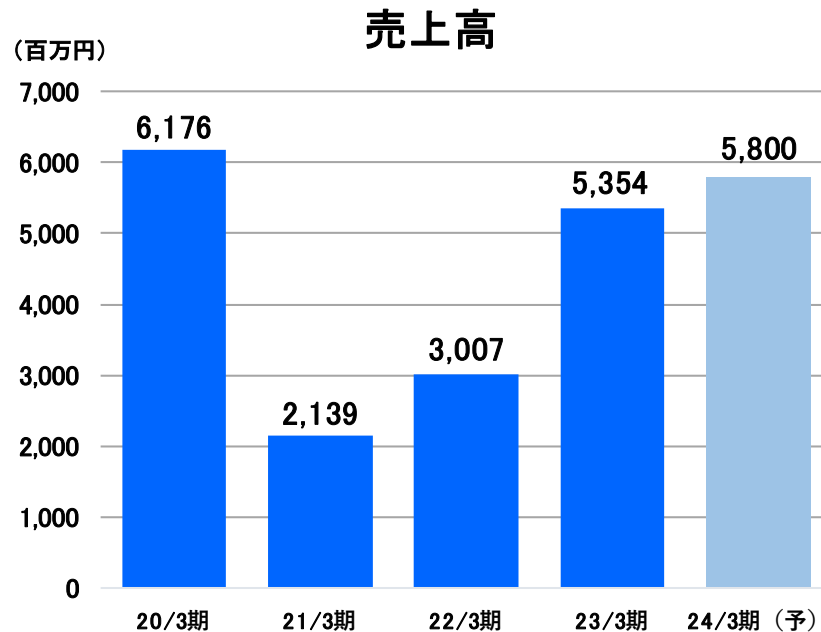
因幡の白うさぎ 55周年記念パッケージ
オリジナルてぬぐい付



55周年記念パッケージ
因幡の白うさぎ9個入
=オリジナルてぬぐい付=

《販売子会社》

24/3期予想:売上高 **5,800**百万円(前期比**+8.3%**)営業利益 **560**百万円(前期比**+18.6%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	6,176	2,139	3,007	5,354	2,347	78.1	5,800	446	8.3
売上総利益	2,224	625	1,098	2,013	915	83.3	2,180	167	8.3
粗利率	36.0	29.2	36.5	37.6	1.1	3.0	37.6	-	-
販売管理費	1,700	1,191	1,284	1,541	257	20.0	1,620	79	5.1
営業利益	523	Δ 566	Δ 186	472	658	-	560	88	18.6

《販売子会社》

主要交通拠点チャネルを中心に土産需要の復活を見据えた新商品での新売場獲得、主力商品での売場面積拡大に注力



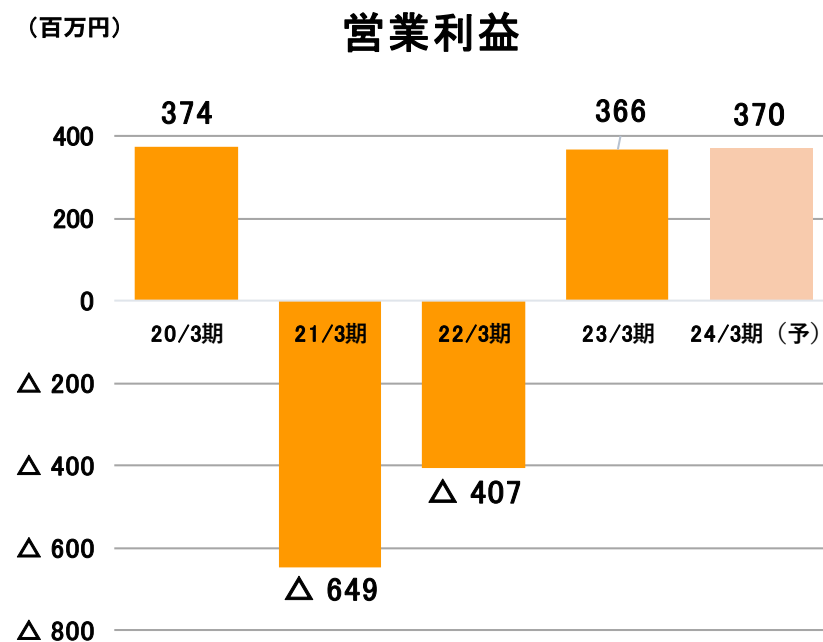
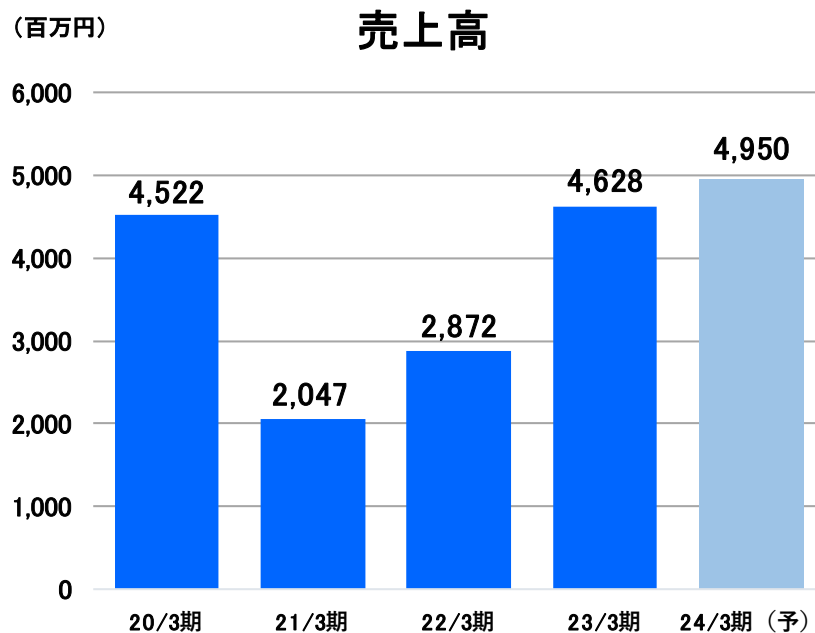
花福堂「博多まっかな苺のガレット」



(関西地区)主力商品リニューアル
フレンチトーストラングドシャ

くじゅうくしま 《九十九島グループ》

24/3期予想:売上高 **4,950**百万円(前期比**+7.0%**)営業利益 **370**百万円(前期比**+1.2%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,522	2,047	2,872	4,628	1,756	61.1	4,950	322	7.0
売上総利益	2,127	650	1,241	2,427	1,186	95.5	2,590	163	6.7
粗利率	47.0	31.8	43.2	52.4	9.2	21.4	52.3	-	-
販売管理費	1,753	1,300	1,648	2,061	414	25.1	2,220	159	7.7
営業利益	374	△ 649	△ 407	366	772	-	370	4	1.2

くじゅうくしま 《九十九島グループ》

Ivorish
Premium French Toast

グループのシナジーを最大限に活用し、組織改革を断行、現場中心の製造小売型経営
に変革し成長を目指す



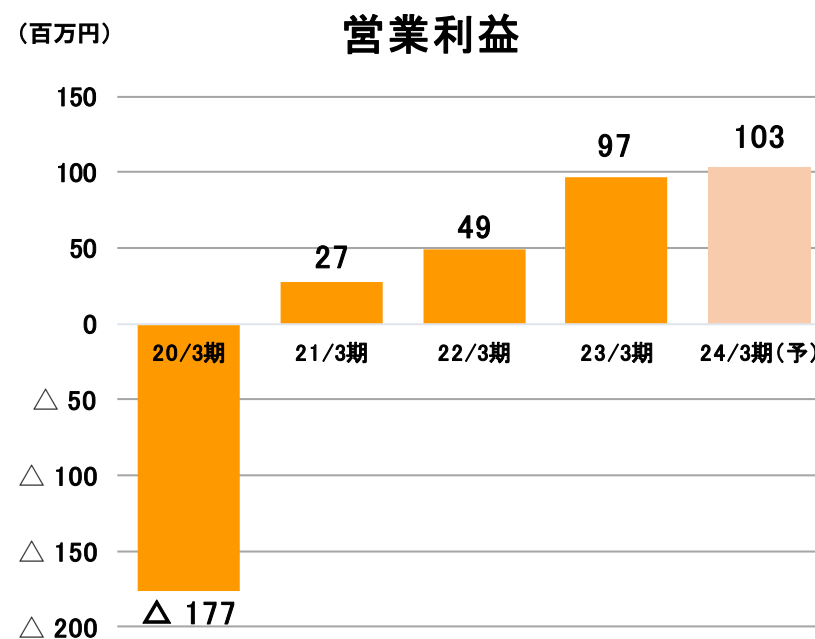
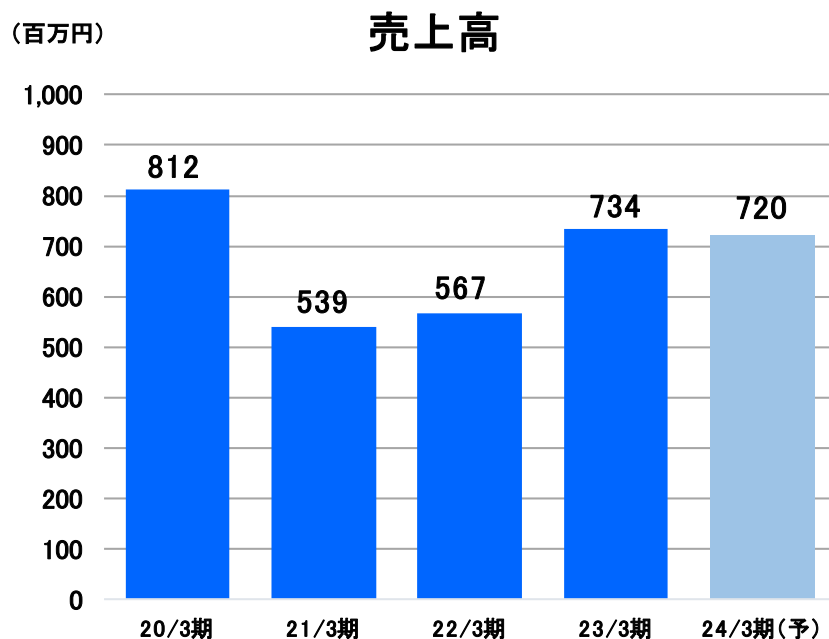
東京駅限定「フレンチトーストプディング」



Ivorish グランスタ東京

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)菓子事業>

24/3期予想:売上高 **720**百万円(前期比 $\Delta 1.9\%$)営業利益 **103**百万円(同 $+6.0\%$)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	812	539	567	734	167	29.5	720	$\Delta 14$	$\Delta 1.9$
売上総利益	529	383	411	534	123	30.0	511	$\Delta 23$	$\Delta 4.4$
粗利率	65.1	71.1	72.5	72.8	0.3	0.4	71.0	-	-
販売管理費	706	356	362	437	75	20.7	408	$\Delta 29$	$\Delta 6.7$
営業利益	$\Delta 177$	27	49	97	48	98.9	103	6	6.0

《その他》

純藍

台湾菓子事業



3月22日OPEN 東京ミルクチーズ工場 台湾新光三越A8店



春節ギフト限定パッケージ

健康食品事業(純藍事業)



古来伝承素材「藍」を100%配合した健康茶『純藍茶』



ESG関連情報

ESG情報(サステナビリティ委員会の設置及びTCFD提言への賛同表明)

当社は、当社グループが様々な事業活動を推進していくうえで、持続可能な社会実現への貢献と中長期的な企業価値の向上が重要な経営課題であるとの認識のもと、サステナビリティにおける取組みを推進するため、2023年4月に「サステナビリティ委員会」を設置し、また、同月にはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明いたしました。当委員会の設置及びTCFD提言への賛同を機に、気候変動がもたらす事業へのリスクと機会について、分析と対応を一層強化し、関連情報の開示を推進していくとともに、2050年の脱炭素社会実現に貢献する取組みを進めてまいります。



寿スピリッツグループ
サステナビリティサイト



※TCFDの概要

TCFDとは、G20の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討する目的で設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」の略称です。TCFDが公表した提言では、企業等に対し、気候変動関連リスク及び機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の把握・開示が推奨されています。

こちらのQRコードでご覧いただけます

ESG情報(シュクレイ・浜松工場FSSC22000認証取得)

シュクレイ浜松工場が、2022年11月8日に当社グループの製造拠点として、ケイセイシイ第2工場、シュクレイ横浜工場につづいて、3拠点目となるFSSC22000認証を取得しました。
お客様に喜ばれる安心安全な商品を提供するため、品質向上活動を継続してまいります。



シュクレイ浜松工場外観



※FSSC 22000は、ISO 22000を追加要求事項で補強した食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。
GFSI(Global Food Safety Initiative)によって、ベンチマーク規格の一つとして承認されています。



株式の状況・株主還元

株式分割について

当社は、2023年8月1日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことについて決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割により、投資単位当たりの金額を引き下げることで、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2023年9月30日(土曜日)を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式1株につき、5株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	31,121,520株
今回の分割により増加する株式数	124,486,080株
株式分割後の発行済株式総数	155,607,600株
株式分割後の発行可能株式総数	456,000,000株

(3) 日程

基準日公告日	2023年9月14日(木曜日)(予定)
基準日	2023年9月30日(土曜日)(注)
効力発生日	2023年10月1日(日曜日)

(注) 基準日当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には9月29日(金曜日)となります。

株式の状況

(2023年3月31日現在)

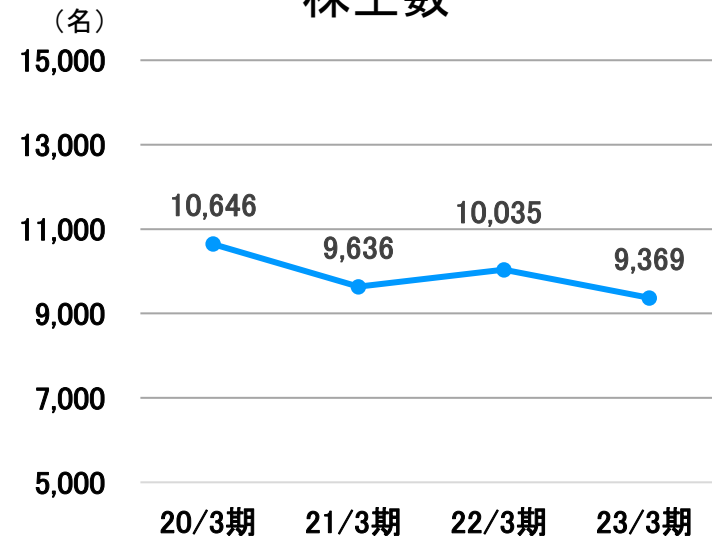
■発行可能株式総数 91,200,000株

■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 9,369名(前期比 666名減)

株主数



■大株主(上位5位)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,100,000	29.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,412,500	10.96
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,154,300	6.92
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
とりぎんリース株式会社	706,000	2.26

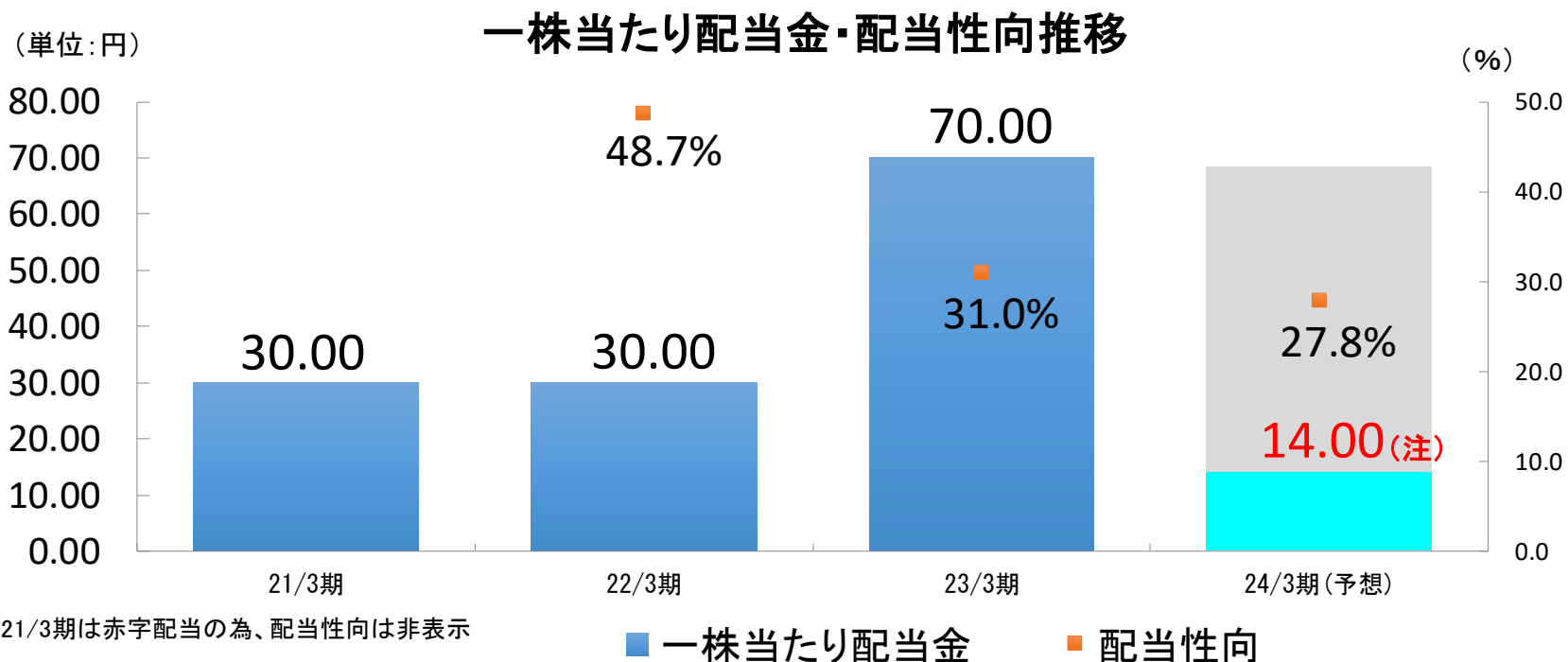
(注1)出資比率は、自己株式2,350株を除く

株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2024年3月期1株当たり配当金予想 **14円** (注)



※21/3期は赤字配当の為、配当性向は非表示

(注) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施いたします。一株当たり配当金予想は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に換算すると予想配当額は、1株当たり70円となります。

株主優待制度について

株式分割に伴い、分割後の株主優待制度の見直しを図り、2024年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より変更後の制度を適用いたします。

現行		変更後	
ご所有株式数	内容	ご所有株式数	内容
100株以上 500株未満	2,000円相当のグループ製品	100株以上	3,000円相当のグループ製品
500株以上 1,000株未満	4,000円相当のグループ製品		
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 ＋ 3,000円相当の直営店舗利用券 (代替商品送付可)		



《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証プライム)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,512名
グループ会社	連結子会社17社(国内16社・海外1社)
連結売上高	501億円(2023年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に **株式会社つきじちとせ**を設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に**株式会社ケイセイシイ**が『**小樽洋菓子舗ルタオ**』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、**株式会社九十九島グループ**スタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に**株式会社シュクレイ**を設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に**純藍株式会社**を設立。
- 2016年1月 (平成28年) **株式会社フランセ**の全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) **株式会社シュクレイ**が**株式会社フランセ**を吸収合併。
- 2022年4月 (令和4年) 東京証券取引所の市場区分見直しにより、プライム市場へ移行。



小樽洋菓子舗ルタオ



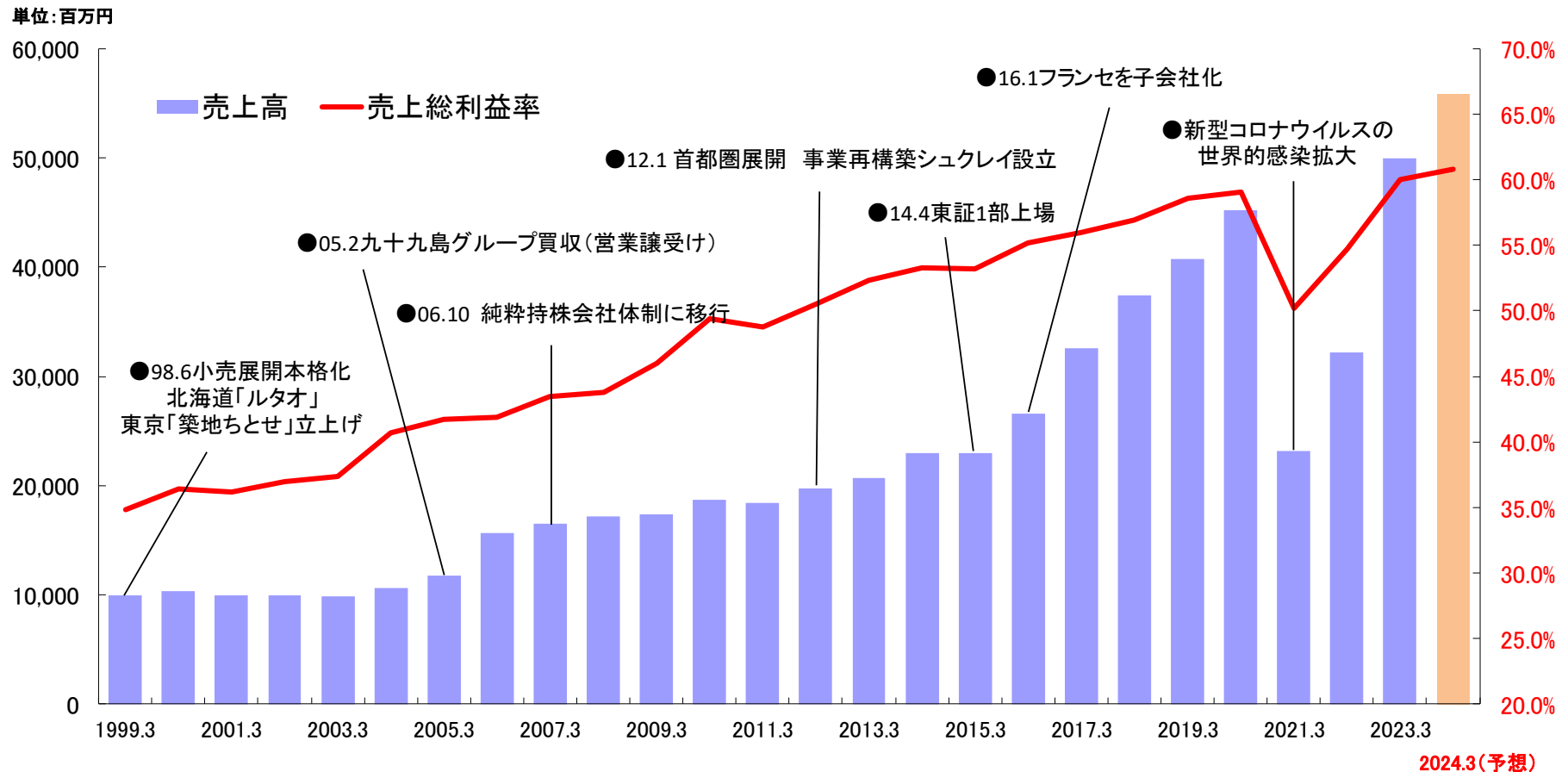
“九十九島せんぺい”



洋菓子のフランセ

寿スピリッツグループの変遷①

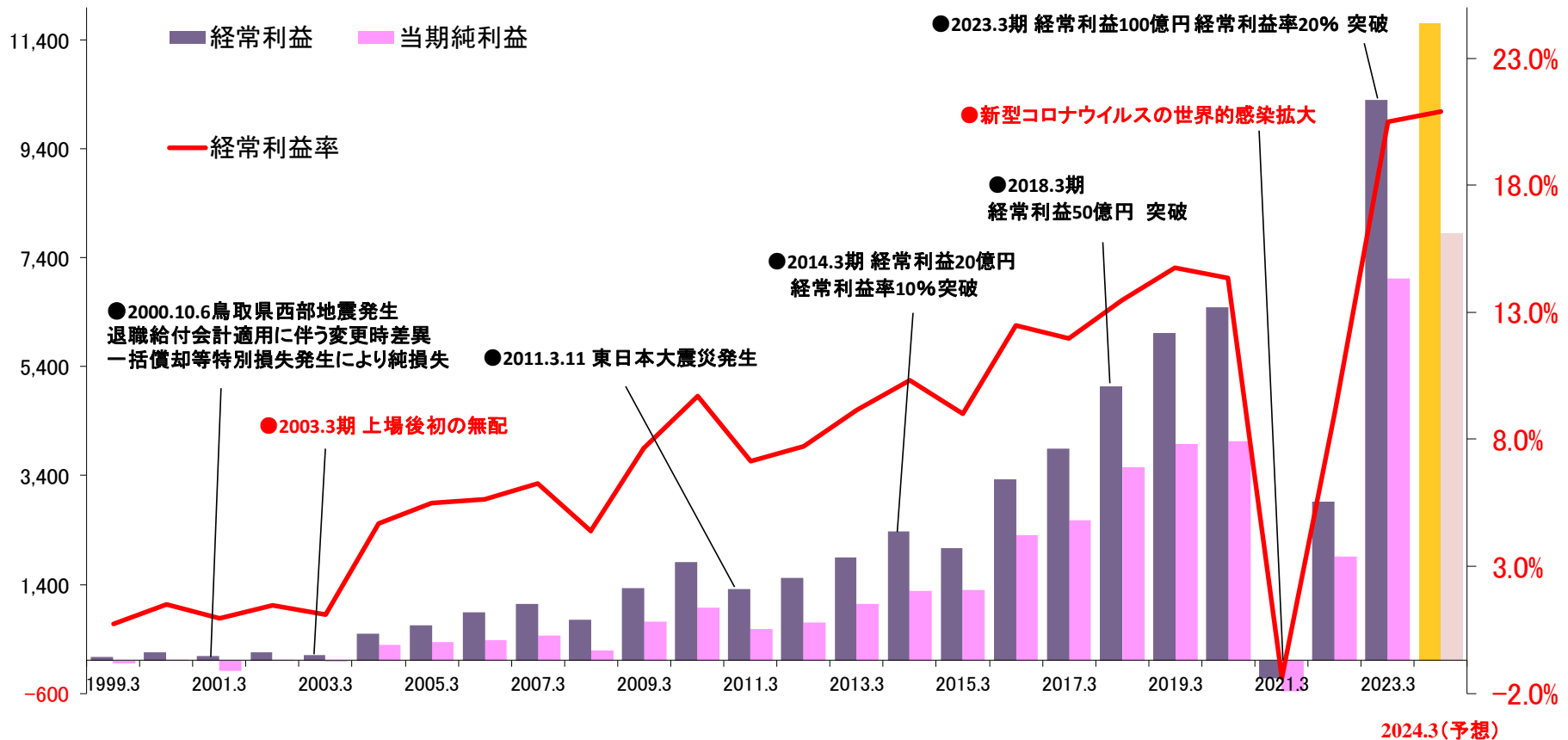
2023年3月期 売上高500億円、売上総利益率60%突破



寿スピリッツグループの変遷②

2023年3月期 経常利益100億円 経常利益率20%突破

単位：百万円



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



(東京)



(東京)



(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」  寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



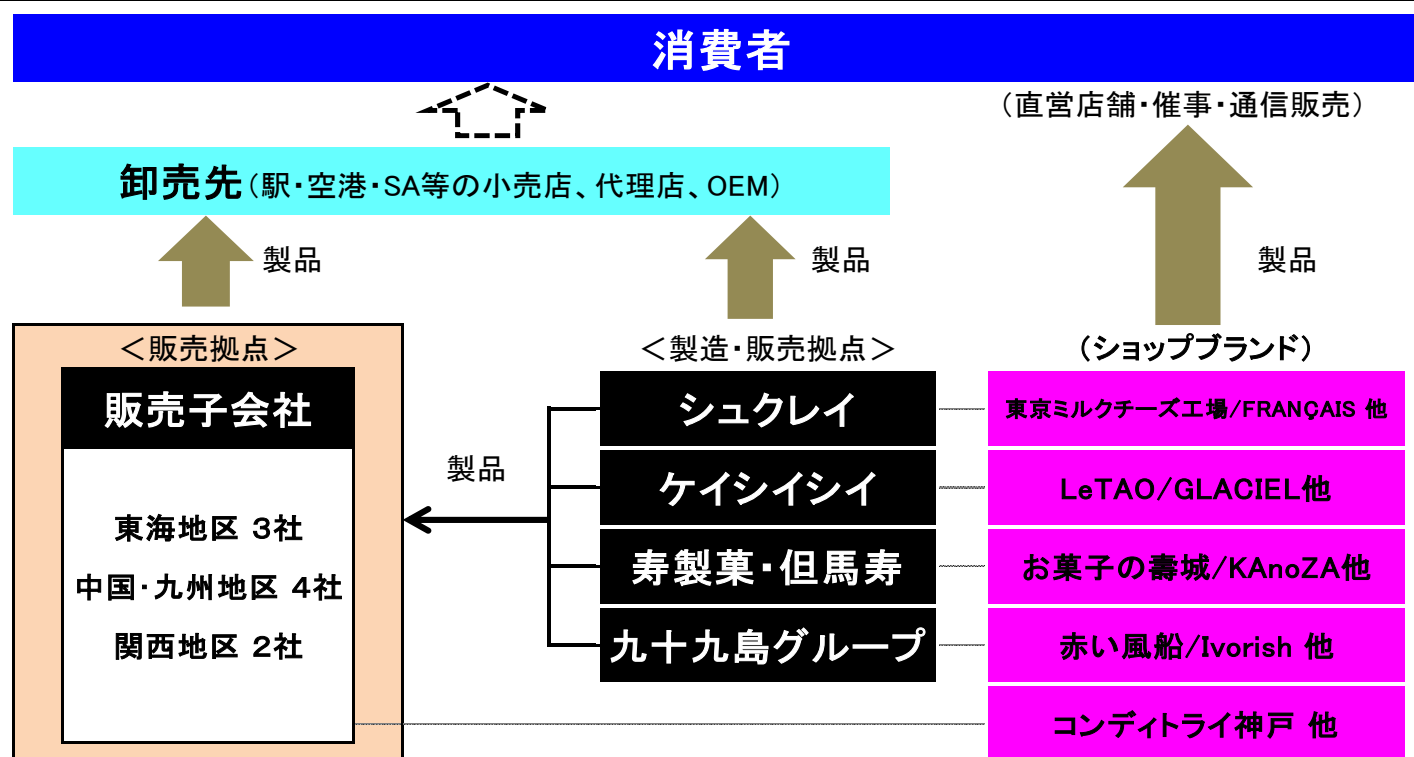
「九十九島せんべい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。

グループ生産体制



本社工場



浦津工場



淀江工場(お菓子の壽城)



第1工場



第2工場



但馬工場



寿製菓

本社工場
浦津工場
淀江工場
但馬工場 ※全工場でISO22000取得



ケイシイシイ

第1工場 北海道HACCP取得
(チョコレート・グラス・ソフトミックスライン)
第2工場 FSSC22000認証取得
(AIBフードセーフティー監査システム導入)



福岡工場



本社工場



福浦工場



浜松工場



黒髪工場



九十九島グループ

福岡工場
本社工場
黒髪工場 ※全工場でJICQA仕様-HACCPシステム認証取得



シュクレイ

横浜工場
浜松工場 ※全工場でFSSC22000認証取得



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語です。

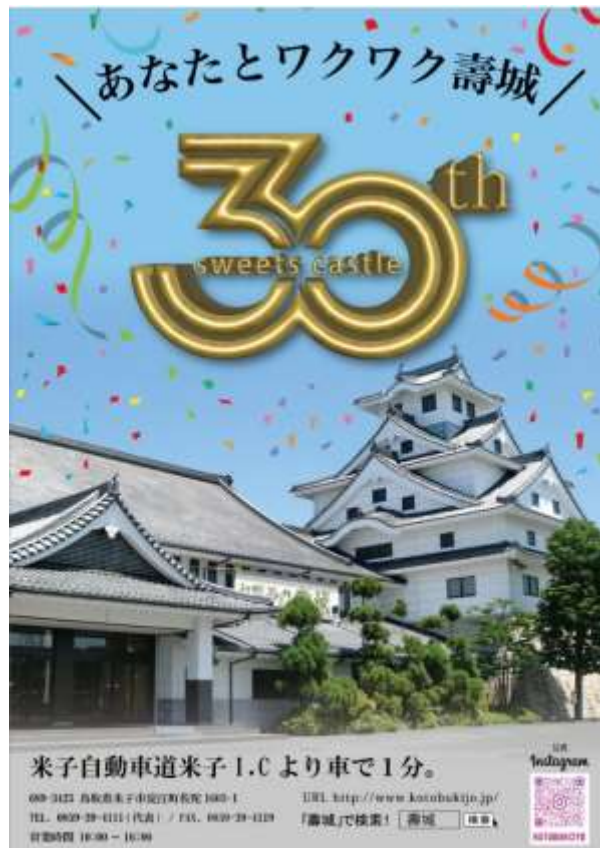
《寿製菓》

お菓子の**壽城**

●お菓子の壽城 築城30周年

2023年4月25日、お菓子の壽城は築城30周年を迎えました。

4月22日～5月7日まで様々な記念イベントを実施し、多くのお客様にご来場いただきました。



《但馬寿》



●但馬寿の地域貢献活動

「遊月亭」「おばあかふえ」を運営する但馬寿は、地元小学校への出前授業の実施や、各種イベントでオリジナルご当地ソングを披露するなど地域貢献活動に注力しています。



《ケイシイシイ》

●小樽洋菓子舗ルタオ25周年

2023年6月に25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」は、記念菓「フロマージュ」を発売、また、25年分の感謝を込めて顧客やお取引先様を招いたイベントを開催。パトス店はリニューアルを行い50周年に向けて再出発しました。



顧客向け感謝祭の様子



お取引先様向け感謝祭の様子



感謝祭で提供したスイーツ



2023年4月1日
ルタオ パトス店 リニューアル



《ケイシイシイ》

●ケイシイシイが総決起大会を開催

2023年5月26日、第10回ケイシイシイ総決起大会を開催しました。ルタオ25周年の節目として「想像以上の創造へ VISION NEXT25」をテーマとし、初の試みとして「理念実践ルーキーMVP表彰」や全社員投票による8名の次世代リーダー候補の選定及び表彰等を行いました。



《シュクレイ》



●シュクレイが4年ぶりに総決起大会を開催

2023年4月6日、ホテルニューオータニにて、新入社員52名を新たに迎え、事業方針説明会と入社式を執り行いました。また、式典後には4年ぶりに総決起大会を開催しました。

